

P3NK-4582-03Z0

# FUJITSU Network Si-R Si-R Gシリーズ

Webユーザーズガイド V2

The logo consists of the word "FUJITSU" in a bold, red, sans-serif font. Above the letter "I" is a stylized red infinity symbol or a pair of interlocking circles.

# はじめに

このたびは、本装置をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
インターネットやLANをさらに活用するために、本装置をご利用ください。

2012年 3月初版

2013年 3月第2版

2014年 11月第3版

本ドキュメントには「外国為替及び外国貿易管理法」に基づく特定技術が含まれています。  
従って本ドキュメントを輸出または非居住者に提供するとき、同法に基づく許可が必要となります。  
Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。  
Copyright FUJITSU LIMITED 2012 - 2014

# 目次

<b>はじめに</b> .....	<b>2</b>
本書の構成と使いかた .....	5
本書の読者と前提知識 .....	5
本書の構成 .....	5
本書における商標の表記について .....	6
本装置のマニュアルの構成 .....	7
<b>第 1 章 本装置への接続</b> .....	<b>8</b>
1.1 WWW ブラウザを準備する .....	9
1.2 本装置のトップページを表示する .....	10
1.3 画面構成 .....	11
1.4 文字入力フィールドで入力できる文字一覧 .....	12
<b>第 2 章 表示</b> .....	<b>13</b>
2.1 表示メニューを表示する .....	14
2.2 装置情報 .....	15
2.2.1 装置情報 .....	15
2.2.2 インタフェース情報 .....	16
2.2.3 ログ情報 .....	16
2.3 統計情報 .....	18
2.3.1 統計情報 .....	18
2.4 ログ情報 .....	19
2.4.1 システムログ情報 (syslog 情報) .....	19
2.4.2 エラーログ情報 (elog 情報) .....	19
<b>第 3 章 操作</b> .....	<b>20</b>
3.1 操作メニューを表示する .....	21
3.2 リモートパワーオン .....	22
3.2.1 リモートパワーオン .....	22
3.3 時刻設定 .....	23
3.3.1 時刻設定 .....	23
3.4 疎通確認 .....	24
3.4.1 疎通確認 .....	24
<b>第 4 章 保守</b> .....	<b>25</b>
4.1 保守メニューを表示する .....	26
4.2 USB メモリ .....	27
4.2.1 ソフトウェアの更新 .....	27
4.2.2 構成定義情報の退避 .....	27
4.2.3 構成定義情報の復元 .....	28
4.2.4 ログ情報の退避 .....	28
4.3 設定情報 .....	29
4.3.1 設定情報の表示 .....	29
4.4 装置再起動 .....	30
4.4.1 運用中の構成定義で再起動 .....	30

---

4.4.2	交替用の構成定義で再起動 .....	30
4.4.3	設定の初期化 .....	30
4.5	リモート .....	31
4.5.1	構成定義情報の退避 .....	31
4.5.2	構成定義情報の復元 .....	32
4.5.3	ソフトウェアの更新 .....	32
4.5.4	データ通信モジュールファイルの更新 .....	32
<b>索引</b>	.....	<b>33</b>

# 本書の構成と使いかた

本書では、本装置の基本的な設定方法とメンテナンス情報などについて説明しています。  
機器の設置および設定用パソコンの接続方法などは、対象装置の「ご利用にあたって」で説明しています。

## 本書の読者と前提知識

本書は、ネットワーク管理を行っている方を対象に記述しています。  
本書を利用するにあたって、ネットワークおよびインターネットに関する基本的な知識が必要です。  
ネットワーク設定を初めて行う方でも「機能説明書」に分かりやすく記載していますので、安心して読みいただけます。







## 本書の構成

以下に、本書の構成と各章の内容を示します。

章タイトル	内 容
第1章 本装置への接続	この章では、本装置への接続方法を説明します。
第2章 表示	この章では、本装置の情報を確認する方法を説明します。
第3章 操作	この章では、本装置の基本的な操作を説明します。
第4章 保守	この章では、本装置の保守機能を説明します。

## マークについて

本書で使用しているマーク類は、以下のような内容を表しています。

-  **ヒント** 本装置をお使いになる際に、役に立つ知識をコラム形式で説明しています。
- こんな事に気をつけて** 本装置をご使用になる際に、注意していただきたいことを説明しています。
-  **補足** 操作手順で説明しているもののほかに、補足情報を説明しています。
-  **参照** 操作方法など関連事項を説明している箇所を示します。
-  **適用機種** 本装置の機能を使用する際に、対象となる機種名を示します。
-  **警告** 製造物責任法 (PL) 関連の警告事項を表しています。本装置をお使いの際は必ず守ってください。
-  **注意** 製造物責任法 (PL) 関連の注意事項を表しています。本装置をお使いの際は必ず守ってください。

## 画面例の記述について

Windows Vista<sup>®</sup>と明らかに異なる画面以外は、Windows<sup>®</sup> XPを使用しています。

## 本書における商標の表記について

Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NT および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe および Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

Netscape は、米国 Netscape Communications Corporation の商標です。

UNIX は、米国およびその他の国におけるオープン・グループの登録商標です。

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

## 製品名の略称について

本書で使用している製品名は、以下のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記
Microsoft® Windows® XP Professional operating system	Windows XP
Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system	
Microsoft® Windows® 2000 Server Network operating system	Windows 2000
Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system	
Microsoft® Windows NT® Server network operating system Version 4.0	Windows NT 4.0
Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0	
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard Edition	Windows Server 2003
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Datacenter Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Datacenter Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Web Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard x64 Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise x64 Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise Edition for Itanium-based systems	
Microsoft® Windows Server® 2003, Datacenter x64 Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Datacenter x64 Edition	
Microsoft® Windows Vista® Ultimate operating system	Windows Vista
Microsoft® Windows Vista® Business operating system	
Microsoft® Windows Vista® Home Premium operating system	
Microsoft® Windows Vista® Home Basic operating system	
Microsoft® Windows Vista® Enterprise operating system	
Microsoft® Windows® 7 64bit Home Premium	Windows 7
Microsoft® Windows® 7 32bit Professional	

## 本装置のマニュアルの構成

本装置の取扱説明書は、以下のとおり構成されています。使用する目的に応じて、お使いください。

マニュアル名称	内容
Si-R 効率化運用ツール使用手引書	Si-R 効率化運用ツールを使用する方法を説明しています。
Si-R G100 ご利用にあたって	Si-R G100 の設置方法やソフトウェアのインストール方法を説明しています。
Si-R G200 ご利用にあたって	Si-R G200 の設置方法やソフトウェアのインストール方法を説明しています。
機能説明書	本装置の便利な機能について説明しています。
トラブルシューティング	トラブルが起きたときの原因と対処方法を説明しています。
メッセージ集	システムログ情報などのメッセージの詳細な情報を説明しています。
仕様一覧	本装置のハード/ソフトウェア仕様と MIB/Trap 一覧を説明しています。
コマンドユーザーズガイド	コマンドを使用して、時刻などの基本的な設定またはメンテナンスについて説明しています。
コマンド設定事例集	コマンドを使用した、基本的な接続形態または機能の活用方法を説明しています。
コマンドリファレンス-構成定義編-	構成定義コマンドの項目やパラメタの詳細な情報を説明しています。
コマンドリファレンス-運用管理編-	運用管理コマンド、その他のコマンドの項目やパラメタの詳細な情報を説明しています。
Web ユーザーズガイド (本書)	Web 画面を使用して、基本的な操作やメンテナンスについて説明しています。また、Web 画面の項目の詳細な情報を説明しています。

# 第1章 本装置への 接続



この章では、本装置への接続方法を説明します。

1.1	WWWブラウザを準備する .....	9
1.2	本装置のトップページを表示する .....	10
1.3	画面構成 .....	11
1.4	文字入力フィールドで入力できる文字一覧 .....	12



## 1.1 WWW ブラウザを準備する

本装置を利用するには、以下の WWW ブラウザを使用してください。

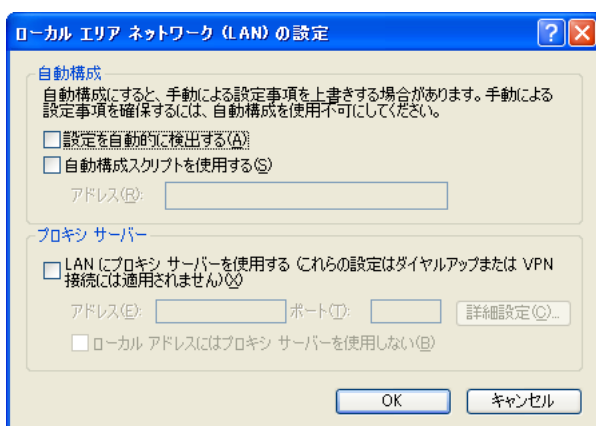
- Microsoft® Internet Explorer Version 8.0
- Microsoft® Internet Explorer Version 9.0

ブラウザの設定が、「Proxy (プロキシ) サーバ機能」を利用しないようになっていることを確認してください。

ここでは、Windows XP での設定を例に説明しています。

以下のように確認します。

1. Microsoft® Internet Explorer を起動します。
2. ツールバーまたはメニューバーの [ツール] をクリックし、「インターネットオプション」をクリックします。
3. インターネットオプション画面の「接続」タブで、「LAN の設定」 ボタンをクリックします。
4. プロキシサーバーの「LAN にプロキシサーバーを使用する」が選択されていないことを確認します。



Proxy サーバを使用する場合は、以下を参考にして本装置だけを Proxy の対象外にしてください。

1. Microsoft® Internet Explorer を起動します。
2. ツールバーまたはメニューバーの [ツール] をクリックし、「インターネットオプション」をクリックします。
3. インターネットオプション画面の「接続」タブで、「LAN の設定」 ボタンをクリックします。
4. プロキシサーバーの「LAN にプロキシサーバーを使用する」が選択されていることを確認し、「詳細設定」 ボタンをクリックします。
5. 「HTTP」 にプロバイダの Proxy サーバを指定します。
6. 例外の「次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない」に本装置の IP アドレス (192.168.1.1) を指定します。

## 1.2 本装置のトップページを表示する

WWW ブラウザを使用して、本装置のトップページを表示します。

本装置は管理権限 (admin) の 1 ユーザだけログインできます。コンソールポート / telnet 接続 / ssh 接続によりログインしている場合は、WWW ブラウザからのログインはできません。

管理者パスワードを設定すると、WWW ブラウザ画面からの設定 / コンソール、telnet からのログイン / FTP サーバ機能使用時に、パスワード入力によってログインを制限することができます。ご購入時の状態では、管理者パスワードは設定されていません。

☛ 参照 「1.1 WWW ブラウザを準備する」 (P.9)

### こんな事に気をつけて

- 一般ユーザでのログインはできません。
- ご購入時の状態では、IP アドレスは設定されていません。コンソールから IP アドレスを設定してください。
- コンソールでログインしている場合は、WWW ブラウザからのログインはできないため、IP アドレス設定後は忘れずにコンソールからログオフしてください。
- 設定したパスワードを忘れた場合、ご購入時の状態に戻すことによって、パスワードを消すことができます。ただし、それまでの設定内容はすべて失われます。

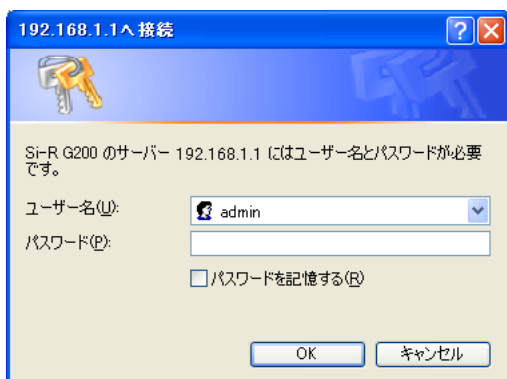
☛ 参照 トラブルシューティング 「5 ご購入時の状態に戻すには」 (P.45)

1. WWW ブラウザを起動します。
2. 本装置の URL 「http://192.168.1.1/」 を指定します。

ログイン認証画面が表示されます。

3. 以下の項目を指定します。

- ユーザー名 : admin
- パスワード : 指定しない



4. [OK] ボタンをクリックします。

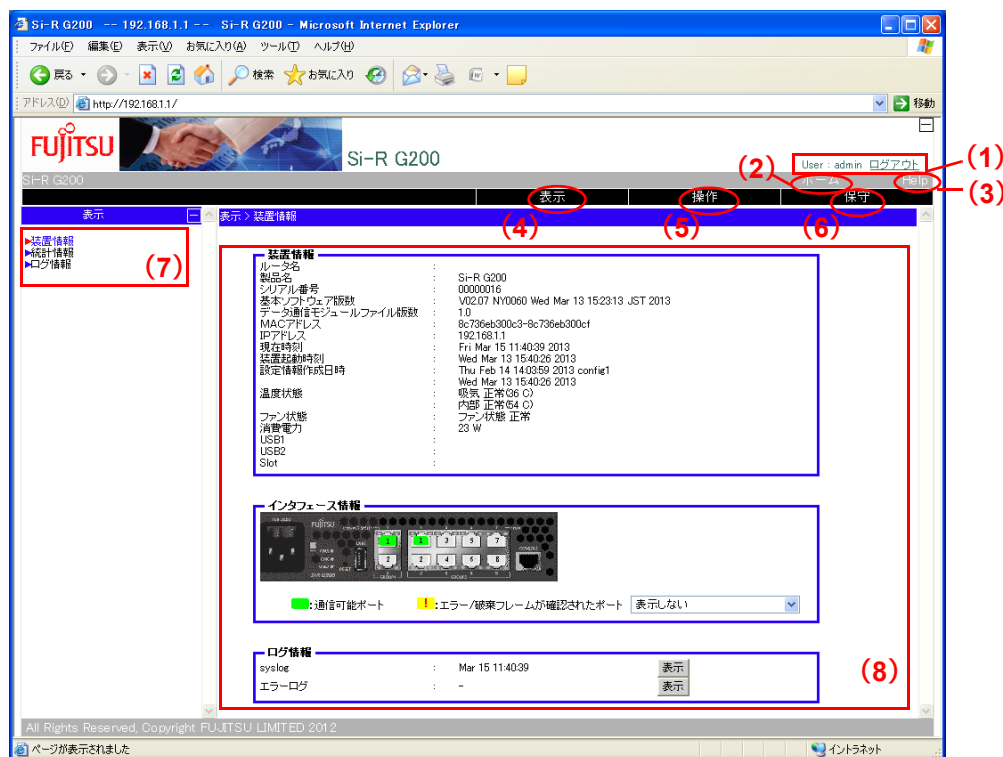
本装置のトップページが表示されます。

トップページは「表示」メニューの「装置情報」です。

## 1.3 画面構成

Web 画面の構成について説明します。

ここでは、Si-R G200 の場合を例に説明します。



- (1) ログアウト : ログアウトできます。
- (2) ホーム : トップページが表示されます。
- (3) Help : ヘルプが表示されます。
- (4) [表示] ボタン : 表示メニューが表示されます。
- (5) [操作] ボタン : 操作メニューが表示されます。
- (6) [保守] ボタン : 保守メニューが表示されます。
- (7) 詳細機能項目エリア : 各メニューの詳細機能項目が表示されます。
- (8) 機能設定・表示エリア : 各メニューの詳細機能項目および各メニューの詳細設定・表示画面が表示されます。

参照 [2.1 表示メニューを表示する] (P14)、[3.1 操作メニューを表示する] (P21)、  
[4.1 保守メニューを表示する] (P26)

## 1.4 文字入力フィールドで入力できる文字一覧

	+0	+1	+2	+3	+4	+5	+6	+7	+8	+9	+A	+B	+C	+D	+E	+F
20		!		#	\$	%(注)	&(注)	'	(	)	*	+	,	-	.	/
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<(注)	=	>(注)	?
40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥(注)	]	^	_
60	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	_(注)	

注) ご使用のキーボードによって、「¥」の代わりに「\」、「」の代わりに「~」を入力してください。ご使用のターミナルソフトウェアやWWWブラウザによって、「¥」の代わりに「\」、「」の代わりに「~」が表示される場合があります。

WWWブラウザでの設定時に、文字入力フィールドに空白文字、「|」、「<」、「>」、「&」、「%」の文字を入力しないでください。これらの文字を入力した場合、WWWブラウザで設定できなくなります。

コマンドでの設定時には、「<」、「>」、「&」、「%」の文字は入力できますが、WWWブラウザでの設定ができなくなります。WWWブラウザで設定を行う場合は、これらの文字を使用しないようにコマンドで設定を変更してください。また、WWWブラウザで設定を行う場合は、空白文字を使用しないようにコマンドで設定を変更してください。

## 第2章 表示



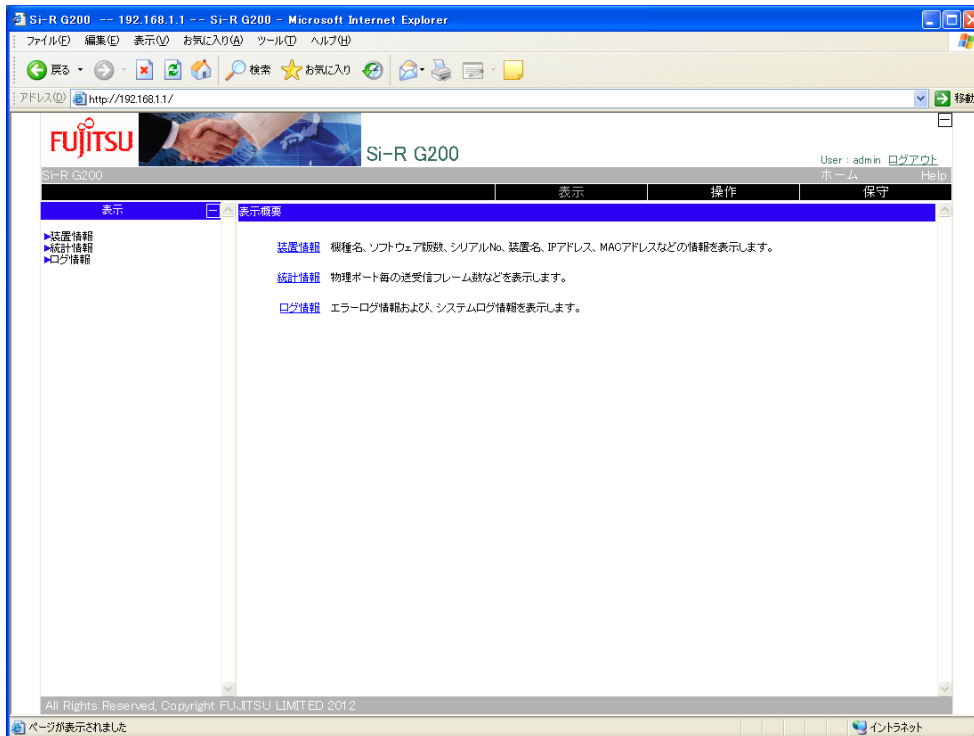
この章では、本装置の情報を確認する方法を説明します。

2.1	表示メニューを表示する .....	14
2.2	装置情報 .....	15
2.2.1	装置情報 .....	15
2.2.2	インタフェース情報 .....	16
2.2.3	ログ情報 .....	16
2.3	統計情報 .....	18
2.3.1	統計情報 .....	18
2.4	ログ情報 .....	19
2.4.1	システムログ情報 (syslog 情報) .....	19
2.4.2	エラーログ情報 (elog 情報) .....	19

## 2.1 表示メニューを表示する

適用機種 全機種

本装置のトップページで、画面上部の「表示」ボタンをクリックすると、表示メニューが表示されます。表示メニューでは、本装置の装置情報、統計情報、ログ情報などを確認することができます。



表示メニューでは、以下の情報が表示できます。

- 装置情報  
機種名、ソフトウェア版数、シリアルNo、装置名、IPアドレス、MACアドレスなどの情報を表示します。
- 統計情報  
物理ポートごとの送受信フレーム数などを表示します。
- ログ情報  
エラーログ情報およびシステムログ情報を表示します。

## 2.2 装置情報

**適用機種** 全機種

表示メニューの「装置情報」をクリックすると、装置情報画面が表示されます。


**装置情報**

```

ルータ名          :
製品名            : Si-R G200
シリアル番号      : 00000016
基本ソフトウェア版数 : V02.07 NY0060 Wed Mar 13 15:23:13 JST 2013
データ通信モジュールファイル版数 : 1.0
MACアドレス      : 8c736eb300c3-8c736eb300cf
IPアドレス        : 192.168.1.1
現在時刻          : Fri Mar 15 11:40:39 2013
装置起動時刻      : Wed Mar 13 15:40:26 2013
設定情報作成日時 : Thu Feb 14 14:03:59 2013 config1
                  : Wed Mar 13 15:40:26 2013
温度状態          : 吸気 正常(36 C)
                  : 内部 正常(54 C)
ファン状態        : ファン状態 正常
消費電力          : 23 W
USB1              :
USB2              :
Slot              :

```

**インタフェース情報**



■:通信可能ポート   
■!:エラー/破棄フレームが確認されたポート

**ログ情報**

```

syslog           : Mar 15 11:40:39    
エラーログ       : -                    

```

### 2.2.1 装置情報

以下の情報が表示されます。

- ルータ名
- 製品名
- シリアル番号
- 基本ソフトウェア版数
- データ通信モジュールファイル版数
- MACアドレス
- IPアドレス
- 現在時刻
- 装置起動時刻
- 設定情報作成日時 (Startup-config / Running-config)
- 温度状態
- ファン状態
- 消費電力
- USB (Si-R G100 の場合だけ表示)
- USB1 (Si-R G200 の場合だけ表示)
- USB2 (Si-R G200 の場合だけ表示)
- Slot (Si-R G200 の場合だけ表示)

## 2.2.2 インタフェース情報

以下の情報が表示されます。

- ポート状態  
ポートの状態がスイッチ図上に以下の色で表示されます。
  - : 通信可能ポート (リンクアップしているポート)
  - ! : 通信可能時にポートでエラーまたは破棄フレームが確認されたポート  
V02.07 基本ソフトウェアから、画面上のメニュー選択で表示を選択できます。
    - 表示しない (初期状態)
    - 表示する  
ポートの統計情報に、エラーフレーム (Errors) または破棄フレーム (Discards) のカウンタが計上されている場合に表示されます。
    - 表示する (エラーフレームのみ)  
ポートの統計情報に、エラーフレーム (Errors) のカウンタが計上されている場合に表示されます。
- 補足 [再読み込み] ボタンをクリックすることで最新の状態が表示されます。
- ! が表示されている場合、[クリア] ボタンをクリックすることで統計情報の初期化を実行し、画面上の ! を消すことができます。



## 2.2.3 ログ情報

以下について、もっとも新しいログ情報が記録された日時が表示されます。

- システムログ情報 (syslog 情報)
- エラーログ情報 (elog 情報)

[表示] ボタンをクリックすると、syslog およびエラーログの詳細情報が表示されます。

## syslog 情報

```

syslog 情報
Jan 01 13:41:53 10.35.156.173 Si-R G200: init: system startup now.
Jan 01 13:41:53 10.35.156.173 Si-R G200: sshd: generating public/private host key pair.
Jan 01 13:41:53 10.35.156.173 Si-R G200: sshd: generated public/private host key pair.
Jan 01 13:41:53 10.35.156.173 Si-R G200: protocol: ether 2 1 link up
Jan 01 13:41:53 10.35.156.173 Si-R G200: protocol: lan 1 link up
Jan 01 13:50:10 10.35.156.173 Si-R G200: httpd: login admin as admin on http from 10.35.156.33
Jan 01 13:51:00 10.35.156.173 Si-R G200: musbd: [USB2] USB Device Detected.
Jan 01 13:51:00 10.35.156.173 Si-R G200: usbh_storage: [USB2] Mass storage device initializing complete.
Jan 01 13:51:00 10.35.156.173 Si-R G200: mountd: USB memory is inserted.
Jan 01 13:53:44 10.35.156.173 Si-R G200: httpd: exit admin as admin on http from 10.35.156.33
Jan 01 14:32:57 10.35.156.173 Si-R G200: httpd: login admin as admin on http from 10.234.19.233
  
```



## eLog 情報

```
eLog情報
[0] Error Log:
flag=80,mode=00,unit=80,regsp=06a5b3e0,thread=cmdexec
Firm information:
Si-R G200 V02.02 PTF:base
System down information:
down code [00000080:0000000d]
Logging time:
Thu Jan 1 15:12:05 1970
Register:
srr0 [0084a8cc] srr1 [0002d200] csrr0 [00000000] csrr1 [00000000]
mcsrr0 [00000000] mcsrr1 [00000000] mcar [00000000] mcsr [00000000]
lr [0084a8cc] dear [00000000] esr [00800000] tsr [00000000]
spr00 [0084aadc] spr01 [06a5b4e0] spr02 [00000005] spr03 [00000000]
spr04 [00000000] spr05 [00000004] spr06 [01bee758] spr07 [00000000]
spr08 [00000000] spr09 [00000000] spr10 [00000000] spr11 [00000000]
spr12 [20000024] spr13 [00000000] spr14 [00000000] spr15 [00000000]
spr16 [00000000] spr17 [00000000] spr18 [00000000] spr19 [00000000]
spr20 [00000000] spr21 [00000000] spr22 [01bee758] spr23 [021f7758]
spr24 [00000000] spr25 [01bee758] spr26 [00000004] spr27 [00000000]
spr28 [00000001] spr29 [00000000] spr30 [065e7720] spr31 [065e7720]
Peripheral Register:
err_det [00000000] l2errdet [00000000] eedr [00000000] ltesr [00000000]
```

## 2.3 統計情報

適用機種 全機種

表示メニューの [統計情報] をクリックすると、統計情報画面が表示されます。

統計情報				
ポート	1秒間に送信したフレーム数 (fps)	送信使用率 (%)	1秒間に受信したフレーム数 (fps)	受信使用率 (%)
<b>Group 1</b>				
1	0	0	0	0
2	0	0	0	0
<b>Group 2</b>				
1	4	0	8	0
2	0	0	0	0
3	0	0	0	0
4	0	0	0	0
5	0	0	0	0
6	0	0	0	0
7	0	0	0	0
8	0	0	0	0

### 2.3.1 統計情報

以下の情報が表示されます。

- ポートごとの1秒間に送信したフレーム数 (fps)
- ポートごとの送信使用率 (%)
- ポートごとの1秒間に受信したフレーム数 (fps)
- ポートごとの受信使用率 (%)

## 2.4 ログ情報

**適用機種** 全機種

表示メニューの [ログ情報] をクリックすると、ログ情報画面が表示されます。

```

syslog情報
- syslog情報
Jan 01 13:41:53 10.35.156.173 Si-R G200: init: system startup now.
Jan 01 13:41:53 10.35.156.173 Si-R G200: sshd: generating public/private host key pair.
Jan 01 13:41:53 10.35.156.173 Si-R G200: sshd: generated public/private host key pair.
Jan 01 13:41:53 10.35.156.173 Si-R G200: protocol: ether 2 1 link up
Jan 01 13:41:53 10.35.156.173 Si-R G200: protocol: lan 1 link up
Jan 01 13:50:10 10.35.156.173 Si-R G200: httpd: login admin as admin on http from 10.35.156.33
Jan 01 13:51:00 10.35.156.173 Si-R G200: musbd: [USB2] USB Device Detected.
Jan 01 13:51:00 10.35.156.173 Si-R G200: usbh_storage: [USB2] Mass storage device initializing complete.
Jan 01 13:51:00 10.35.156.173 Si-R G200: mountd: USB memory is inserted.
Jan 01 13:53:44 10.35.156.173 Si-R G200: httpd: exit admin as admin on http from 10.35.156.33
Jan 01 14:32:57 10.35.156.173 Si-R G200: httpd: login admin as admin on http from 10.234.19.233
Jan 01 15:08:40 10.35.156.173 Si-R G200: httpd: exit admin as admin on http from 10.234.19.233
Jan 01 15:08:56 10.35.156.173 Si-R G200: logon: login admin as admin on console
Jan 01 15:10:06 10.35.156.173 Si-R G200: logon: exit admin as admin on console
Jan 01 15:10:22 10.35.156.173 Si-R G200: httpd: login admin as admin on http from 10.35.156.33
Jan 01 15:11:51 10.35.156.173 Si-R G200: logon: login admin as admin on console
Jan 01 15:11:51 10.35.156.173 Si-R G200: httpd: exit admin as admin on http from 10.35.156.33 (exclusive)
Jan 01 15:12:12 10.35.156.173 Si-R G200: init: system down occurred. down code [00000080:0000000d]
Jan 01 15:12:12 10.35.156.173 Si-R G200: init: system startup now.
Jan 01 15:12:12 10.35.156.173 Si-R G200: sshd: generating public/private host key pair.
Jan 01 15:12:12 10.35.156.173 Si-R G200: sshd: generated public/private host key pair.
Jan 01 15:12:12 10.35.156.173 Si-R G200: protocol: ether 2 1 link up
Jan 01 15:12:12 10.35.156.173 Si-R G200: protocol: lan 1 link up
Jan 01 15:12:12 10.35.156.173 Si-R G200: logon: login admin as admin on console
Jan 01 15:12:21 10.35.156.173 Si-R G200: logon: exit admin as admin on console
Jan 01 15:12:23 10.35.156.173 Si-R G200: logon: login admin as admin on console
Jan 01 15:17:52 10.35.156.173 Si-R G200: logon: exit admin as admin on console
Jan 01 15:17:56 10.35.156.173 Si-R G200: httpd: login admin as admin on http from 10.35.156.33
Jan 01 15:18:31 10.35.156.173 Si-R G200: musbd: [USB2] USB Device Detected.
Jan 01 15:18:33 10.35.156.173 Si-R G200: usbh_storage: [USB2] Mass storage device initializing complete.
Jan 01 15:18:33 10.35.156.173 Si-R G200: mountd: USB memory is inserted.
Jan 01 15:18:48 10.35.156.173 Si-R G200: httpd: exit admin as admin on http from 10.35.156.33
Jan 01 15:20:34 10.35.156.173 Si-R G200: httpd: login admin as admin on http from 10.234.19.233

elog情報
- elog情報
----- Error logs in FLASH -----
----- Error logs in DRAM -----
[0] Error Log:
flag=80,mode=00,unit=80,regsp=06a5b3e0,thread=cmdexec
Firm information:
Si-R G200 V02.02 PTF:base
System down information:
down code [00000080:0000000d]
Logging time:
Thu Jan 1 15:12:05 1970
Register:
srr0 [0084a8cc] srr1 [0002d200] csrr0 [00000000] csrr1 [00000000]
mcsrr0 [00000000] mcsrr1 [00000000] mcar [00000000] mcsr [00000000]
lr [0084aaec] dear [00000000] esr [00800000] tsr [00000000]
spr00 [0084aad3] spr01 [06a5b4e0] spr02 [00000005] spr03 [00000000]
spr04 [00000000] spr05 [00000004] spr06 [01bee758] spr07 [00000000]
spr08 [00000000] spr09 [00000000] spr10 [00000000] spr11 [00000000]
spr12 [20000024] spr13 [00000000] spr14 [00000000] spr15 [00000000]
spr16 [00000000] spr17 [00000000] spr18 [00000000] spr19 [00000000]
spr20 [00000000] spr21 [00000000] spr22 [01bee758] spr23 [021f7758]
spr24 [00000000] spr25 [01bee758] spr26 [00000004] spr27 [00000000]
spr28 [00000001] spr29 [00000000] spr30 [065e7720] spr31 [065e7720]
Peripheral Register:
err_det [00000000] l2errdet [00000000] eedr [00000000] ltesr [00000000]

```

### 2.4.1 システムログ情報 (syslog 情報)

本装置に記録されているすべてのシステムログが表示されます。

### 2.4.2 エラーログ情報 (elog 情報)

本装置に記録されているすべてのエラーログが表示されます。

# 第3章 操作



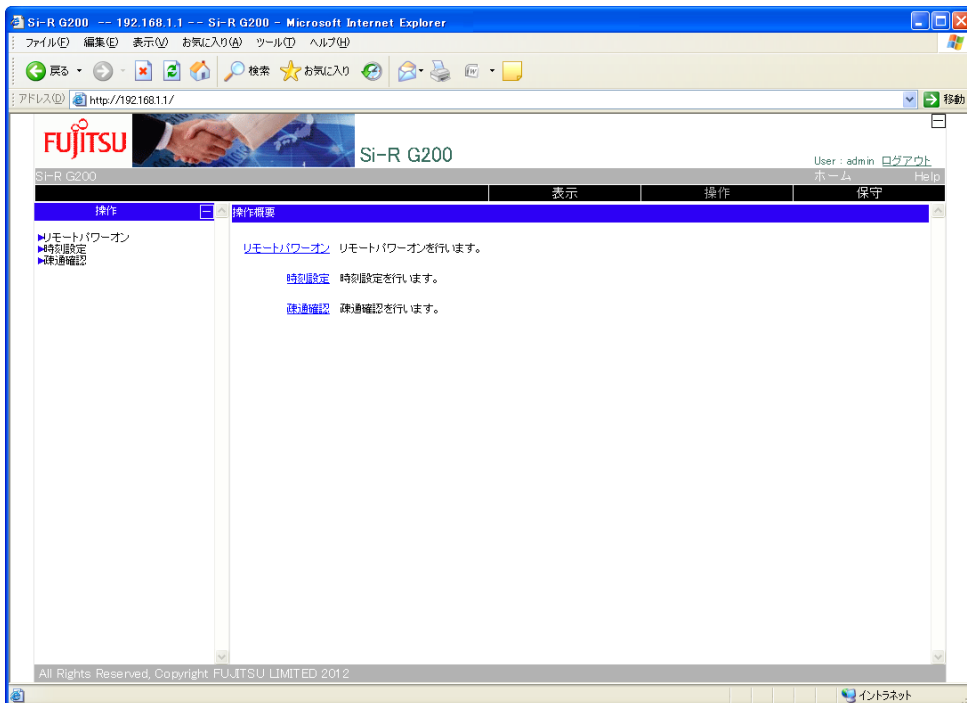
この章では、本装置の基本的な操作を説明します。

3.1	操作メニューを表示する .....	21
3.2	リモートパワーオン .....	22
3.2.1	リモートパワーオン .....	22
3.3	時刻設定 .....	23
3.3.1	時刻設定 .....	23
3.4	疎通確認 .....	24
3.4.1	疎通確認 .....	24

## 3.1 操作メニューを表示する

**適用機種** 全機種

本装置のトップページで、画面上部の「操作」ボタンをクリックすると、操作メニューが表示されます。操作メニューでは、本装置を運用するうえで最低限必要な情報を設定することができます。



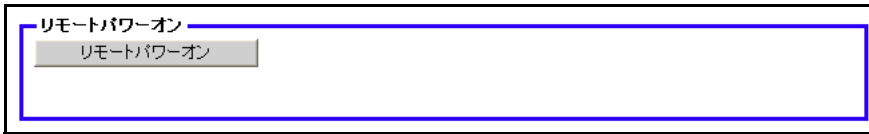
操作メニューでは、以下の操作ができます。

- リモートパワーオン  
リモートパワーオンを行います。
- 時刻設定  
時刻設定を行います。
- 疎通確認  
疎通確認を行います。

## 3.2 リモートパワーオン

**適用機種** 全機種

操作メニューの [リモートパワーオン] をクリックすると、リモートパワーオン操作画面が表示されます。



### 3.2.1 リモートパワーオン

[リモートパワーオン] ボタンをクリックすると、リモートパワーオンを行います。  
電源を投入するホストは、あらかじめ、ホストデータベースで登録しておく必要があります。

☛ **参照** [コマンドリファレンス-構成定義編](#) - [host rpon]

## 3.3 時刻設定

**適用機種** 全機種

操作メニューの [時刻設定] をクリックすると、時刻設定操作画面が表示されます。

本装置を運用開始する前に、必ず時刻を設定してください。ご購入時の状態では、時刻は設定されていません。本装置の時刻の設定方法を以下から選択します。

- 指定した NTP/SNTP サーバと同期  
本装置の時刻をネットワーク上の NTP サーバおよび SNTP サーバと同期するように設定します。同期する NTP/SNTP サーバの IP アドレスを指定します。同期間隔は 12 時間です。
- 手動で時刻を設定  
本装置に指定した時刻を設定します。時刻を指定します。
- パソコンから取得した時刻を設定  
本装置にパソコンから取得した時刻を設定します。
- 時刻を設定しない  
本装置に時刻を設定しない場合に選択します。

### 3.3.1 時刻設定

[登録] ボタンをクリックすると、時刻設定を行います。



設定反映時には、以下のコマンドが発行されます。

- 「指定した NTP/SNTP サーバと同期」が設定された場合  
time auto server 問い合わせ先サーバのIPアドレス sntp

☛ 参照 [コマンドリファレンス-構成定義編](#) - 「time auto server」

- 「手動で時刻を設定」および「パソコンから取得した時刻を設定」が設定された場合  
date 設定時刻

☛ 参照 [コマンドリファレンス-運用管理編](#) - 「date」

## 3.4 疎通確認

適用機種 全機種

操作メニューの [疎通確認] をクリックすると、疎通確認操作画面が表示されます。



疎通確認

送信先

ping送信

### 3.4.1 疎通確認

[ping送信] ボタンをクリックすると、指定した送信先のping実行内容が表示され疎通確認ができます。

```
ping実行中
PING 192.168.1.100: 48 data bytes.
56 bytes from 192.168.1.100: icmp_seq=0 ttl=255 time=0.088 ms
56 bytes from 192.168.1.100: icmp_seq=1 ttl=255 time=0.096 ms
56 bytes from 192.168.1.100: icmp_seq=2 ttl=255 time=0.096 ms
56 bytes from 192.168.1.100: icmp_seq=3 ttl=255 time=0.096 ms
56 bytes from 192.168.1.100: icmp_seq=4 ttl=255 time=0.096 ms
----192.168.1.100 PING Statistics----
5 packets transmitted, 5 packets received, 0% packet loss
round-trip (ms)  min/ave/max = 0.088/0.094/0.096
```

リトライ

#### 送信先

疎通確認する送信先を指定します。



# 第4章 保守



この章では、本装置の保守機能を説明します。

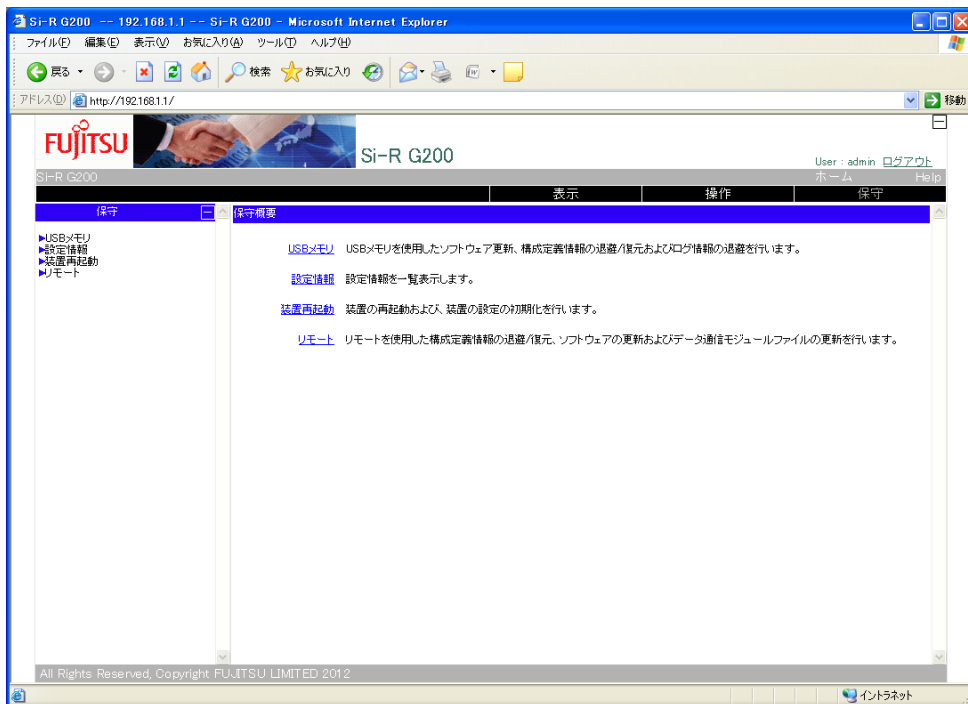
4.1	保守メニューを表示する	26
4.2	USB メモリ	27
4.2.1	ソフトウェアの更新	27
4.2.2	構成定義情報の退避	27
4.2.3	構成定義情報の復元	28
4.2.4	ログ情報の退避	28
4.3	設定情報	29
4.3.1	設定情報の表示	29
4.4	装置再起動	30
4.4.1	運用中の構成定義で再起動	30
4.4.2	交替用の構成定義で再起動	30
4.4.3	設定の初期化	30
4.5	リモート	31
4.2.1	ソフトウェアの更新	27
4.2.2	構成定義情報の退避	27
4.2.3	構成定義情報の復元	28
4.2.4	ログ情報の退避	28

## 4.1 保守メニューを表示する

**適用機種** 全機種

本装置のトップページで、画面上部の [保守] ボタンをクリックすると、保守メニューが表示されます。

保守メニューでは、本装置のソフトウェアの更新、構成定義情報の退避/復元、装置の再起動などの操作をすることができます。



保守メニューでは、以下の保守作業を実行できます。

- USBメモリ  
USBメモリを使用したソフトウェア更新、構成定義情報の退避/復元およびログ情報の退避を行います。
- 設定情報  
設定情報を一覧表示します。
- 装置再起動  
装置の再起動および装置設定の初期化を行います。
- リモート  
リモートを使用した構成定義情報の退避/復元、ソフトウェアの更新およびデータ通信モジュールファイルの更新を行います。

## 4.2 USB メモリ

適用機種 全機種

保守メニューの [USB メモリ] をクリックすると、USB メモリ画面が表示されます。

**ソフトウェアの更新** ?

ソフトウェアファイル名(USBメモリ)	
SIRG200SOFT.ftp	<input type="button" value="更新"/>

**構成定義情報の退避** ?

退避する構成定義	退避先ファイル名(USBメモリ)	
運用中の構成定義		<input type="button" value="退避"/>

**構成定義情報の復元** ?

復元する構成定義	復元元ファイル名(USBメモリ)	
起動用の構成定義	SIRG200SOFT.ftp	<input type="button" value="復元"/>

**ログ情報の退避** ?

退避するログ情報	退避先ファイル名(USBメモリ)	
解析情報	tech-support(固定)	
エラーログ	elog(固定)	
システムログ	syslog(固定)	
		<input type="button" value="退避"/>

### 4.2.1 ソフトウェアの更新

[更新] ボタンをクリックすると、選択したファイルで本装置のソフトウェアファイルを更新します。

#### ソフトウェアファイル名

更新するソフトウェアファイルを USB メモリ内のファイル名から選択します。

### 4.2.2 構成定義情報の退避

[退避] ボタンをクリックすると、USB メモリに構成定義情報を退避します。

#### 退避する構成定義

退避する構成定義情報を以下から選択します。

- 運用中の構成定義
- 交替用の構成定義

#### 退避先ファイル名

USB メモリに格納する構成定義退避先のファイル名を、0x21 および 0x23 ~ 0x7e の 32 文字以内の ASCII 文字で指定します。

### 4.2.3 構成定義情報の復元

[復元] ボタンをクリックすると、USB メモリから構成定義情報を復元します。

#### 復元する構成定義

復元する構成定義情報を以下から選択します。

- 起動用の構成定義
- 交替用の構成定義

#### 復元元ファイル名

復元する構成定義ファイルを USB メモリ内のファイル名から選択します。

### 4.2.4 ログ情報の退避

[退避] ボタンをクリックすると、USB メモリへログ情報を退避します。

以下のログ情報を退避します。

- 解析情報  
退避先ファイル名は「tech-support」となります。
- エラーログ  
退避先ファイル名は「elog」となります。
- システムログ  
退避先ファイル名は「syslog」となります。

## 4.3 設定情報

**適用機種** 全機種

保守メニューの [設定情報] をクリックすると、設定情報画面が表示されます。

設定情報一覧					
[-] 装置名/IPアドレスの設定					
	装置名	IPアドレス/ネットマスク	デフォルトゲートウェイ		
		10.35.156.173/24	10.35.156.1		
[-] 時刻の設定					
	自動で指定のNTP/SNTPサーバと同期		現在の時刻		
	未設定		Thu Jan 1 13:55:59 1970		
[-] 管理者パスワードの設定					
	管理者ユーザ名		管理者パスワード		
	admin		未設定		
[-] SNMPアクセスの許可とSNMP Trapの送信					
	SNMPアクセス許可端末のIPアドレス	コミュニティ名	書き込み許可	Trap	
[-] アクセス管理					
	アクセス許可端末	Telnet	FTP	SSH/SFTP	Web
[-] SYSLOG設定					
	SYSLOGサーバの番号	SYSLOGサーバのIPアドレス	出力対象となるログレベル		
	0	未設定			
	1	未設定			
[-] 物理ポートの設定					
	グループ/ポート番号	ポートの使用	通信状態	メディア種別	速度設定 クロス/ストレートの自動判別
	1 1	使用する			自動設定 (AutoNegotiation有効) 自動判別する
	1 2	使用しない			自動設定 (AutoNegotiation有効) 自動判別する
	2 1	使用する	100Mbps/full		自動設定 (AutoNegotiation有効) 自動判別する
	2 2	使用する			自動設定 (AutoNegotiation有効) 自動判別する
	2 3	使用する			自動設定 (AutoNegotiation有効) 自動判別する
	2 4	使用する			自動設定 (AutoNegotiation有効) 自動判別する
	2 5	使用する			自動設定 (AutoNegotiation有効) 自動判別する
	2 6	使用する			自動設定 (AutoNegotiation有効) 自動判別する
	2 7	使用する			自動設定 (AutoNegotiation有効) 自動判別する
	2 8	使用する			自動設定 (AutoNegotiation有効) 自動判別する
[-] VLANの設定					
	VLAN ID	VLAN名	所属アンタグポート	所属タグポート	
	1	default	ether 1 1		
	2	v2	ether 2 1,ether 2 2,ether 2 3,ether 2 4,ether 2 5,ether 2 6,ether 2 7,ether 2 8		

物理ポート設定の表示内容は、機種によって異なります。

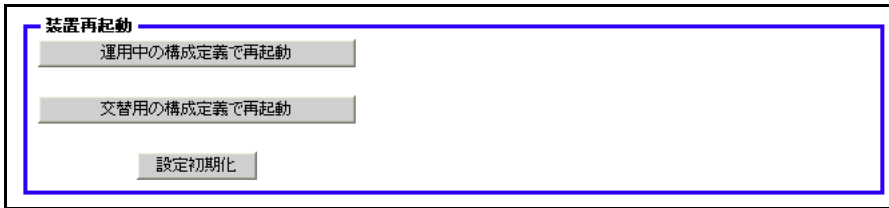
### 4.3.1 設定情報の表示

設定情報を一覧表示します。

## 4.4 装置再起動

**適用機種** 全機種

保守メニューの [装置再起動] をクリックすると、装置再起動画面が表示されます。



### 4.4.1 運用中の構成定義で再起動

[運用中の構成定義で再起動] ボタンをクリックすると、現在運用中の構成定義情報で本装置が再起動されます。

### 4.4.2 交替用の構成定義で再起動

[交替用の構成定義で再起動] ボタンをクリックすると、保存されている交替用の構成定義情報で本装置が再起動されます。

### 4.4.3 設定の初期化

[設定初期化] ボタンをクリックすると、本装置の設定を初期化してから、再起動されます。  
現状の設定が必要な場合は、構成定義情報を退避してください。

☛ 参照 [「4.2.2 構成定義情報の退避」 \(P.27\)](#)

## 4.5 リモート

適用機種 全機種

保守メニューの [リモート] をクリックすると、リモート画面が表示されます。

**構成定義情報の退避**

退避する構成定義

編集中の構成定義

運用中の構成定義

**構成定義情報の復元**

復元元ファイル名

**ソフトウェアの更新**

ソフトウェアファイル名

**データ通信モジュールファイルの更新**

データ通信モジュールファイル名

### 4.5.1 構成定義情報の退避

[退避] ボタンをクリックすると、構成定義情報が表示されます。

```

ether 1 1 vlan untag 1
ether 1 2 use off
ether 2 1 vlan untag 2
ether 2 2 vlan untag 2
ether 2 3 vlan untag 2
ether 2 4 vlan untag 2
ether 2 5 vlan untag 2
ether 2 6 vlan untag 2
ether 2 7 vlan untag 2
ether 2 8 vlan untag 2
lan 0 ip address 192.168.1.100/24 3
lan 0 vlan 1
lan 1 ip address 10.35.156.173/24 3
lan 1 ip route 0 default 10.35.156.1 1 1
lan 1 vlan 2
syslog facility 23
time auto server 0.0.0.0 dhcp
time zone 0900
resource system vlan 4084-4094
consoleinfo autologout 8h
telnetinfo autologout 5m
terminal pager enable
terminal charset SJIS
alias history "show logging command brief"
```

表示されている構成定義情報をファイル保存し退避します。

#### 退避する構成定義

退避する構成定義情報を以下から選択します。

- 編集中の構成定義
- 運用中の構成定義

## 4.5.2 構成定義情報の復元

[復元] ボタンをクリックすると、選択したファイルで構成定義情報を復元します。

### 復元元ファイル名

復元元ファイルを [参照] ボタンをクリックし選択します。

## 4.5.3 ソフトウェアの更新

[更新] ボタンをクリックすると、選択したファイルで本装置のソフトウェアファイルを更新します。

### ソフトウェアファイル名

更新するソフトウェアファイルを [参照] ボタンをクリックし選択します。

## 4.5.4 データ通信モジュールファイルの更新

[更新] ボタンをクリックすると、選択したファイルで本装置のデータ通信モジュールファイルを更新します。

### データ通信モジュールファイル名

更新するデータ通信モジュールファイルを [参照] ボタンをクリックし選択します。



# 索引

## M

---

Microsoft® Internet Explorer .....9

## P

---

Proxy サーバ .....9

## U

---

USB メモリ .....27

## W

---

WWW ブラウザ .....9

## か

---

画面構成 ..... 11

## さ

---

再起動 .....30

## せ

---

接続方法 .....8

設定情報 .....29

## そ

---

操作メニュー ..... 11, 21

装置情報 ..... 15

## と

---

統計情報 ..... 18

トップページ ..... 10

## に

---

入力文字一覧 ..... 12

## ひ

---

表示メニュー ..... 11, 14

## ほ

---

保守メニュー ..... 11, 26

## ま

---

マニュアル構成 ..... 7

## り

---

リモート .....31

リモートパワーオン ..... 22

## ろ

---

ログ情報 ..... 19

---

## Si-R G シリーズ Web ユーザーズガイド

P3NK-4582-03Z0

発行日 2014年11月

発行責任 富士通株式会社

---

- 本書の一部または全部を無断で他に転載しないよう、お願いいたします。
- 本書は、改善のために予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、損害については、弊社はその責を負いません。